

# かめた図書館だより

新潟市立亀田図書館（江南区文化会館内） 第14号 平成28年9月発行



## 読書の秋を楽しもう ～読書週間行事のご紹介～

毎年10月27日から11月9日は読書週間。亀田図書館でも、この期間に合わせて関連行事を開催します。図書館で読書の秋、文化の秋をお楽しみください。

詳しい情報はチラシ、館内掲示、ホームページなどでお知らせします。



### 文化講演会

#### 「私の俳句観」

新潟日報ジュニア文芸「俳句」選者であり、南魚沼市で農業も営む俳人若井新一さんから、新潟の風土に根差した俳句の創作や作品鑑賞についてお話しいたします。

日時 11月23日（水・祝） 午後2時～4時  
会場 江南区文化会館 多目的ルーム  
定員 70名（要事前申込）

### 中学生俳句作品展

江南区は俳句ゆかりの地です。区内の中学生たちによる、きらめく感性から生まれた俳句作品を展示します。

日時 11月3日（木・祝）～24日（木）  
（毎週金曜日を除く）  
会場 江南区郷土資料館（江南区文化会館内）



### 雑誌リサイクルフェア

～保存期限を過ぎた雑誌などをお分けします～

平成25年（2013年）以前発行で、図書館での保存期限の切れた雑誌などを、1人10冊を上限にお譲りします。

日時 11月20日（日）午前9時30分～11時  
会場 江南区文化会館 多目的ルーム



### おはなしのじかんスペシャル

ボランティアの皆さんによる「おはなしのじかん」。読書週間中は、いつもよりたくさん開催します。ご家族いっしょに絵本を楽しみませんか。

日時 10月下旬～11月下旬（全10回実施）  
会場 亀田図書館 おはなしのへや



\* 写真は昨年の様子

## 報告

# 体験しよう！図書館のしごと



書架の整理を体験中



本の修理に興味津々

本の修理や貸出・返却は地味なしごとだったけど楽しかった。

見事、修了しました！



学校の図書室にいらべて本がたくさんあってすごかった！

7月26日に「体験しよう！図書館のしごと」を実施しました。

午前と午後に、小学校4～5年の2名ずつの参加者がカウンターでの本の貸出・返却、返却された本の本棚への配架・整理、壊れた本の修理といった図書館の仕事に挑戦しました。

## 報告

# 読書へのアニメーション\*ワークショップ



本と遊ぼう！読書へのアニメーション・ワークショップ(子ども向け)  
8月6日実施



読書へのアニメーション・ワークショップ(大人向け)  
7月24日実施

「読書へのアニメーション」はスペイン生まれの、グループで読書を楽しみながら読み方を学ぶ活動です。読む力を育てるための75の作戦から1冊につき1つの作戦を実行し本と触れ合います。

亀田図書館では大人向け、子ども向け2つのワークショップを開催しました。大人向けではミニ講義や体験を通してアニメーションについて学び、子ども向けでは絵本や詩を取り上げた作戦を体験しました。参加者 大人向け：26名 子ども向け：17名

## おはなしのじかん スタンプカードを始めます！

10月29日(土)の「おはなしのじかんスペシャル」からスタンプカードを始めます。スタンプをためてもらえるプレゼントはお楽しみに！



## 江南区のお宝 ～HA・I・KU～

昔から俳句が盛んな亀田郷や横越地区。今でも多くの方達が俳句をたしなみ、俳誌の発行も続いています。地域に根付いた文化として、亀田図書館では、約 5,700 点の俳句資料を 2 階の特別コレクション室に展示しています。俳句を愛好する皆さんからお話を伺いました。



- ◆高浜虚子の弟子、高野素十や中田みづほなど新潟医科大学（新潟大学医学部の前身）の医師達を招き指導してもらっていた。年越しには仲間で集まって夜通し俳句を作って楽しんだ。
- ◆俳誌「まはぎ」の発行が終わり、その後、村松紅花（高浜虚子の弟子）の指導で「雪」が創刊され現在も続いている。  
※「まはぎ」「雪」はすべて当館でご覧いただけます。
- ◆父親や叔父が俳句好きで、その影響で自分も俳句を作り始めた。
- ◆梨を生産しながら俳句作りを楽しんでいる。

図書館でも、俳句がより広く親しまれ多くの皆さんの心に届くよう、お手伝いをしたいと思います。

## 俳句の窓 第1回

俳人・田村紅子さんから、江南区にゆかりのある俳人の句を紹介していただきます。第1回目は亀田の佐藤暁華・仁也親子の作品です。

いだ ふとい  
抱き刈る 太藺冷ややか 炎天下  
佐藤 暁華

昔、亀田が水郷であった頃、太藺が多く作られていた。腰まで水に漬かり、抱く様にして太藺を刈ったのである。

太藺：湿地や沼に生える多年草。観賞用にも栽培される。夏の季語。

ふかだがり  
舟べりに つかまり下りぬ 深田刈  
佐藤 仁也

仁也は暁華の長男である。父の俳句を受け継ぎ、日々の農作業を句に詠んでいる。腰まで漬かって稲刈をした。

『亀田句集 花太藺』所収

田村紅子さん＊本名田村和子。亀田出身。亀山其園（高浜虚子の弟子）に師事。俳誌「雪」「玉藻」同人。「鷗」副主宰。亀田図書館協議会委員として図書館運営に協力。

著書：『紅萩』『菊日和』『菊溢れしめ』（句集）



## 地区図書室のご利用について

今年の4月より江南区地区図書室の利用時間を拡大しました。ご利用にあたっては次のことをお願いします。

### ○はじめて借りるときは利用者登録をお願いします。

図書館とは別に登録が必要です。

※登録の際は、住所確認書類（運転免許証・保険証・郵便物等）をお持ちください。

### ○返却は借りた地区図書室をお願いします。

他の地区図書室や図書館に返却することはできません。

※詳しくは図書室職員、亀田図書館（025-382-4696）、横越地区図書室については横越地区公民館（025-385-2043）まで。



曾野木地区図書室



大江山地区図書室

# ビジネスセミナーを開催しました！

9月11日に、江南区産業振興課、新潟市産業振興財団（新潟IPC財団）とコラボし、ビジネスセミナーを行いました。

テーマは「～感覚的にわかる～ゼロからのマーケティング」。

新潟IPC財団 春川さんによるユニークな視点のセミナーは、参加者に大変好評でした。参加者：21名



講師：新潟IPC財団  
プロジェクトマネージャー 春川英広さん



ポジティブな方向性を指し示してもらえて、起業に対する勇気がわいた。

マーケティングや図書館の利用法など内容が盛りだくさんで参考になった。

## \*\*\* おすすめの本 \*\*\*

### 『火花』

又吉直樹/著 文藝春秋

芸人の先輩・後輩の交遊録。お笑いコンビ「スパークス」の徳永はある日「あほんだら」の神谷と出会う。漫才をやるには「人と違うことをせなあかん」と繰り返す神谷の漫才論に感心した徳永は彼に弟子入りを願い出る。しかし、神谷の芸論は徐々に「面白ければ何でもあり」という破滅的なものに変化し、芸に対して純粹でひたむきに笑いを得ようとする徳永とはだんだんすれ違っていく。『火花』は絶えず笑いのネタを創作し続けねばならない芸人の日常生活が丁寧に描かれている。

作者は太宰治が好きだという。芸人世界から離れた太宰風小説にも期待。

文：村山広栄さん  
(亀田図書館協議会委員)



### 『もりのへなそうる』

わたなべしげお/さく やまわきゆりこ/え  
福音館書店

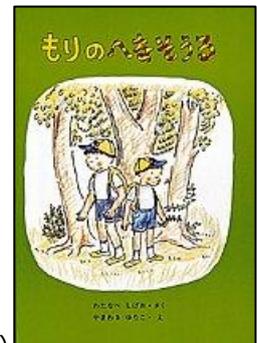
てつたくんとみつやくんの兄弟が森に探検に出かけ、不思議な恐竜の子ども「へなそうる」と出会う物語です。

まだ舌たらずのみつやくんの言い間違え、「へなそうる」の幼く愛らしい、ユーモアあふれる言動。2人と1匹のまるで3人兄弟のようなやりとりが続きます。

すてきでおもしろいやりとりと、やまわきゆりこさんのかわいらしい絵で、思わず笑ってしまう場面もたくさんです。

ぜひ、お子様と一緒に読んでみてください。楽しい時間が共有できますよ。

(亀田図書館・久保田)



「かめだ図書館だより」第14号・平成28年9月発行（年4回発行）

編集・発行 新潟市立亀田図書館（新潟市江南区文化会館内）

新潟市江南区茅野山3-1-14

電話：025(382)4696 FAX：025(381)8003

ホームページ：http://www.niigatacitylib.jp

メールアドレス：kameda.cl@city.niigata.lg.jp